

第7回 自転車利用環境向上会議 in堺

2018.10.27

分科会4 サイクルツーリズム～散走とシェアサイクル～

分科会議題① ツーリズムとしての散走の楽しみ方

観光における自転車の活用と「散走」

大阪産業大学 経済学部 教授

小川 雅司

1. 平成30年度 調査研究の概要
2. 堺市の観光資源
3. 堺市の観光の現状
4. 観光による地域活性化のポイント（課題）
5. 自転車のメリット
6. 自転車観光の取組
7. 散走の価値
8. 自転車観光の課題
9. 具体的なプロジェクト提案の紹介

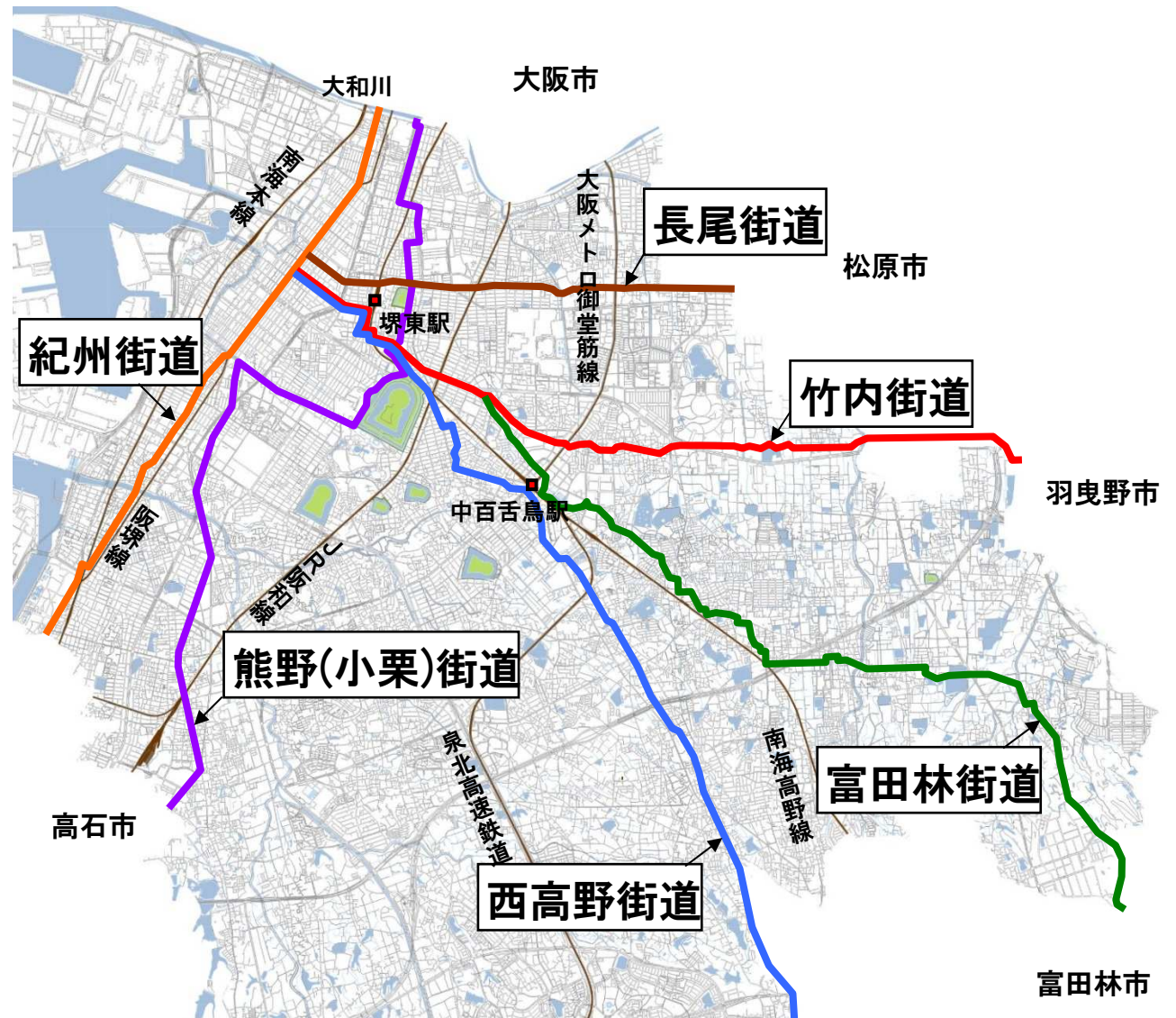
堺都市政策研究所 平成30年度調査研究概要

堺市の主な歴史街道

歴史街道を基軸とした 都市魅力の向上と発信 に関する調査研究II

■ 調査研究概要

- ①堺市域の歴史街道及び周辺の魅力あるコンテンツを抽出・整理
- ②魅力の創出及びさらなる向上策として、魅力の結合・観光促進となる自転車活用方策を検討
- ③これらの具体的なプロジェクトと有効な発信策を検討



2. 堺市の観光資源

時代・分野ともに幅広い歴史・文化を有しており、観光資源が豊富
主な観光資源は旧市街地周辺に集積している

古代

仁徳天皇陵などの百舌鳥古墳群



中世

千利休と茶の湯文化
環濠都市と鉄砲生産
信長・家康などの戦国武将縁の社寺



近世

伝統産業（堺打刃物、線香など）
町家（山口家住宅、鉄砲鍛冶屋敷）



近代

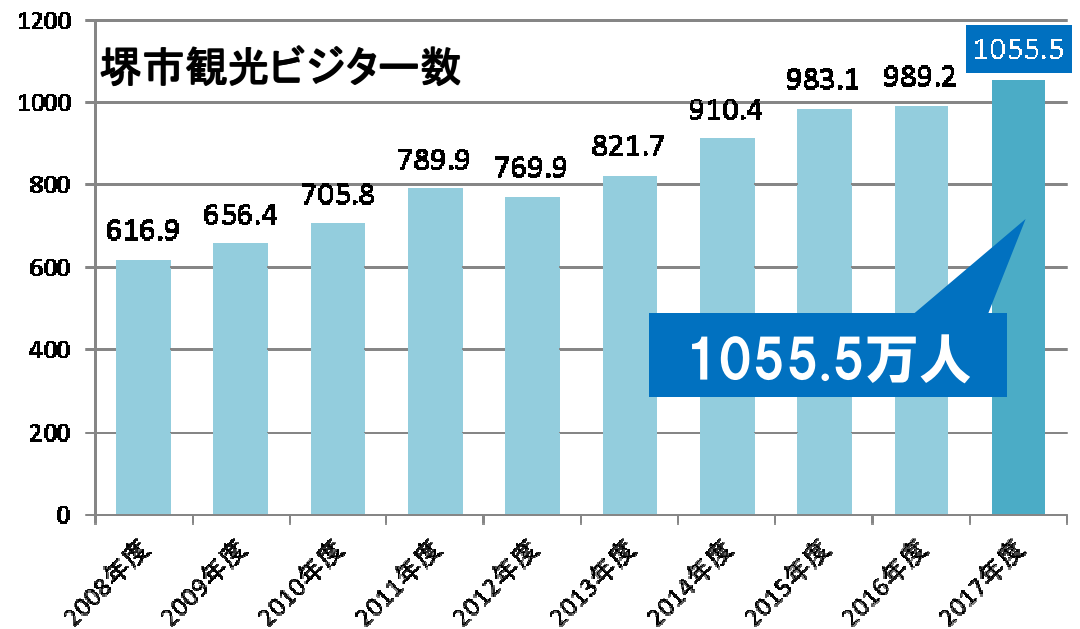
与謝野晶子
旧堺燈台、阪堺電車
自転車産業

現代

政令指定都市
自転車博物館／さかい利晶の杜

3. 堺市の観光の現状

- ◆堺市観光ビジター数は年々増加
昨年度（2017年度）は1,000万人を突破
- ◆百舌鳥・古市古墳群が
世界文化遺産国内推薦に決定
- ◆KIX泉州ツーリズムビューロー、
NPO法人堺観光ボランティア協会
などによる取り組み



→ 堺市を含む泉州地域の観光プロモーションの加速



仁徳天皇陵古墳 拝所



百舌鳥古墳群



泉州観光ガイド <http://welcome-to-senshu.jp/>

観光資源は豊富にあるが
有効に活用できていない

課題

食文化や
景観の**魅力**向上

観光資源の
認知度の向上

**アクセス性、
回遊性**の向上

- ◆体験やガイド等の話が重要
- ◆地域住民による地域再発見、愛着の醸成（シビックプライド）
- ◆有名な資源を軸にしたストーリー性のある回遊モデルコースの確立
- ◆観光資源が旧市街地に集積、偏っている
- ◆**アクセス性、回遊性の向上、
人気スポット間の移動手段の確保**



千利休
(堺市博物館蔵)



与謝野晶子
(文化学院蔵)



観光ボランティアによるガイド

- ◆点在する観光資源を「つなぐ」手段として有効
- ◆自由に、気軽に、快適に、楽に広範囲を回遊可能
- ◆自転車そのものが堺市の伝統産業のひとつ



寺社仏閣・史跡(古墳群)めぐり



地元のおいしいものめぐり

- ◆堺観光レンタサイクルとさかいコミュニティサイクル
- ◆自転車マップの作成
- ◆自転車ツアーや散走の実施
- ◆自転車イベントの開催（ツアー・オブ・ジャパン堺ステージ）
- ◆自転車博物館サイクルセンター
- ◆広域連携の視点（泉州サイクルルート）



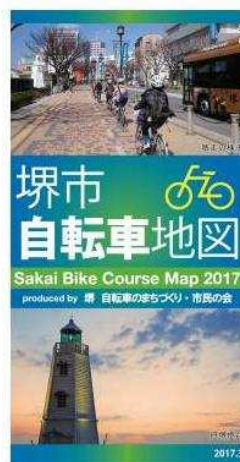
さかいコミュニティサイクル



堺観光レンタサイクル



ツアー・オブ・ジャパン堺ステージ



堺市自転車地図と散走



自転車博物館サイクルセンター

さんそう

散走

「自転車で走ること」が目的ではなく、
「対象となるエリアにあるコトやモノを愉しむこと」が目的の
新しい自転車の楽しみ方

—— シマノ OVEが提唱 ——

<価値>

- ◆地域の再発見や体験
(ゆっくり、じっくり回遊)
- ◆地域とのふれあい
- ◆自転車に乗れば誰でも参加可能
(年齢や体力を問わない)
- ◆徒歩よりも広範囲で回遊できる

<可能性>

- ◆一般観光に飽きた観光客やリピーターの
確保が可能 (より深い観光)
- ◆回遊、滞在による経済波及効果
- ◆回遊性が高まることで、まちのにぎわいづくり
や人の交流につながる
→ 受入・おもてなし (地域の愛着醸成に寄与)



写真: 堺市発行情報誌 Sakaist(さかいすと)2017より

自転車のレンタルのシステム

レンタサイクル OR シェアサイクル

◆観光客が借りる手続きの改善
(時間、場所の問題)

◆シェアサイクルのポートの確保
(場所がない、設置コスト(ドックありの場合))
◆再配置の手間と費用の縮小化 → 要工夫
◆利用が進まない
→ ポート等がニーズに合っていない?
◆既存コミュニティサイクルとの関係

自転車走行環境の整備

観光スポットにおける駐輪場の確保

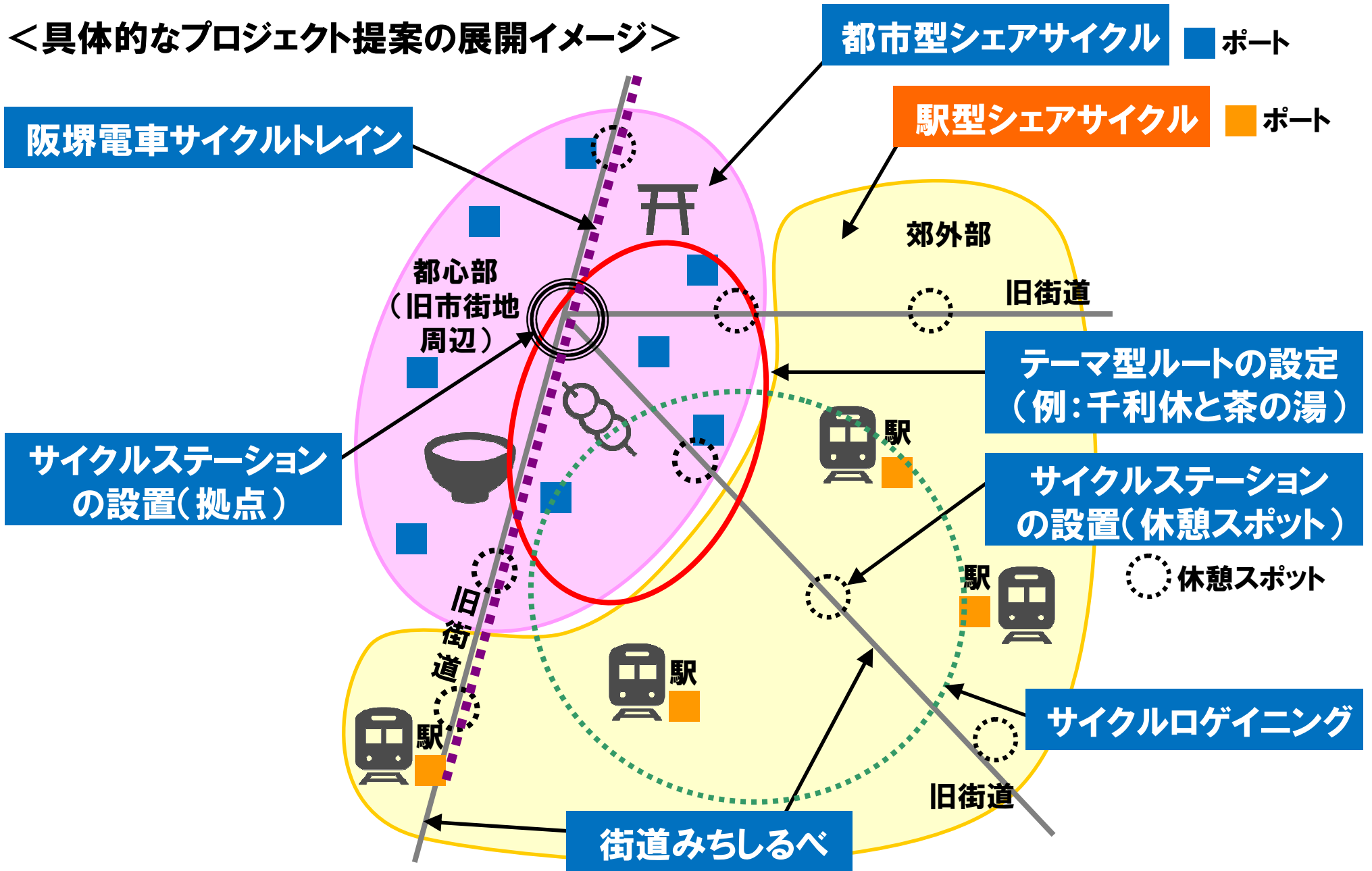
魅力的な周遊ルートの設定と周知・PR及び案内誘導

自転車ツアーガイドの確保・育成

その他 (自転車のシンボル性、ヘルメットの着用など)

※堺市ではヘルメットの着用は条例で努力義務

<具体的なプロジェクト提案の展開イメージ>



「都市型シェアサイクル」と「駅型シェアサイクル」の併用

<堺市の特性>

- ◆地域資源が集中し、来街者が多い都心部（旧市街地周辺）と住宅地を中心とした郊外部

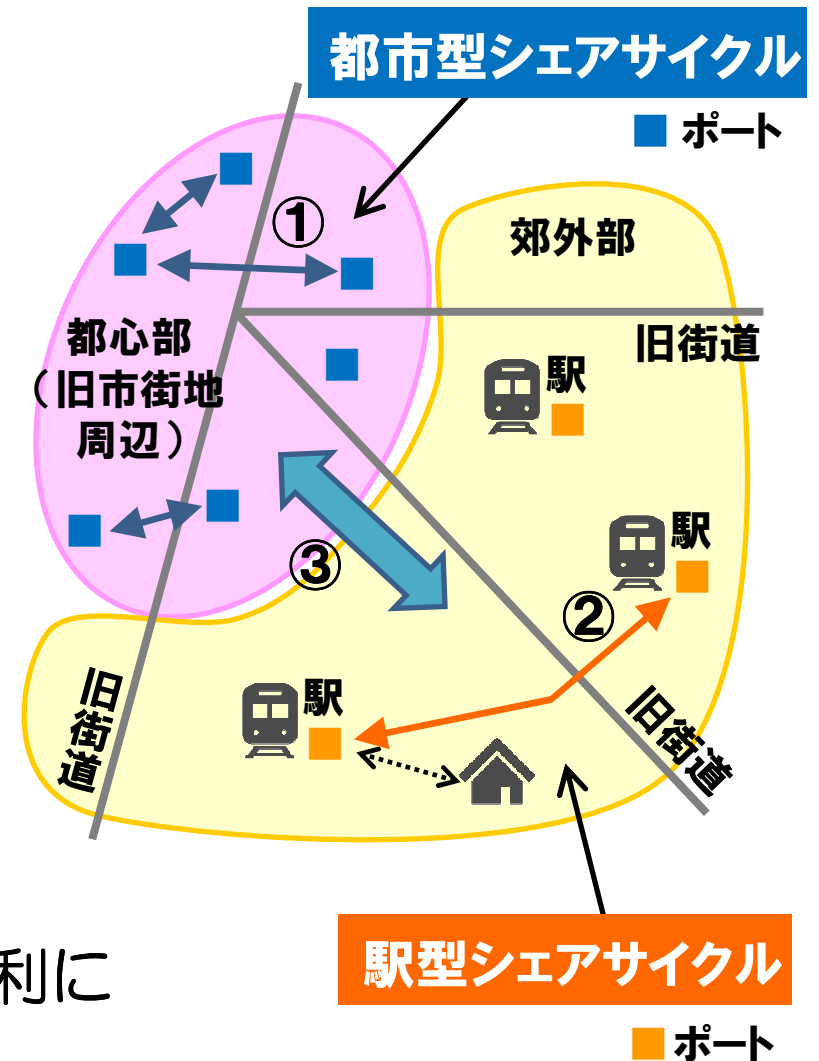
<自転車施策の展開提案>

- ◆目的地が面的に広がる都心部（旧市街地周辺）ではポートが多い都市型シェアサイクル
- ◆住宅地を中心とした郊外部では、観光だけでなく、通勤通学需要にも対応した駅型シェアサイクル（他駅との相互貸出・返却可）
- ◆両シェアサイクルを相互に連携

- ①都心部の面的回遊観光
- ②郊外部での観光（A駅→B駅）
- ③都心部 ⇔ 郊外部の観光

が便利に

<シェアサイクル活用提案(イメージ)>



テーマ型ルートの設定(例:千利休と茶の湯)(約12km)

魅力資源 千利休と茶の湯×自転車

新たな魅力 1日で巡るテーマ型観光

①さかい利晶の杜・千利休屋敷跡
(千利休茶の湯館、茶の湯体験)

②南宗寺 (千利休が修行して茶と禅が結合)

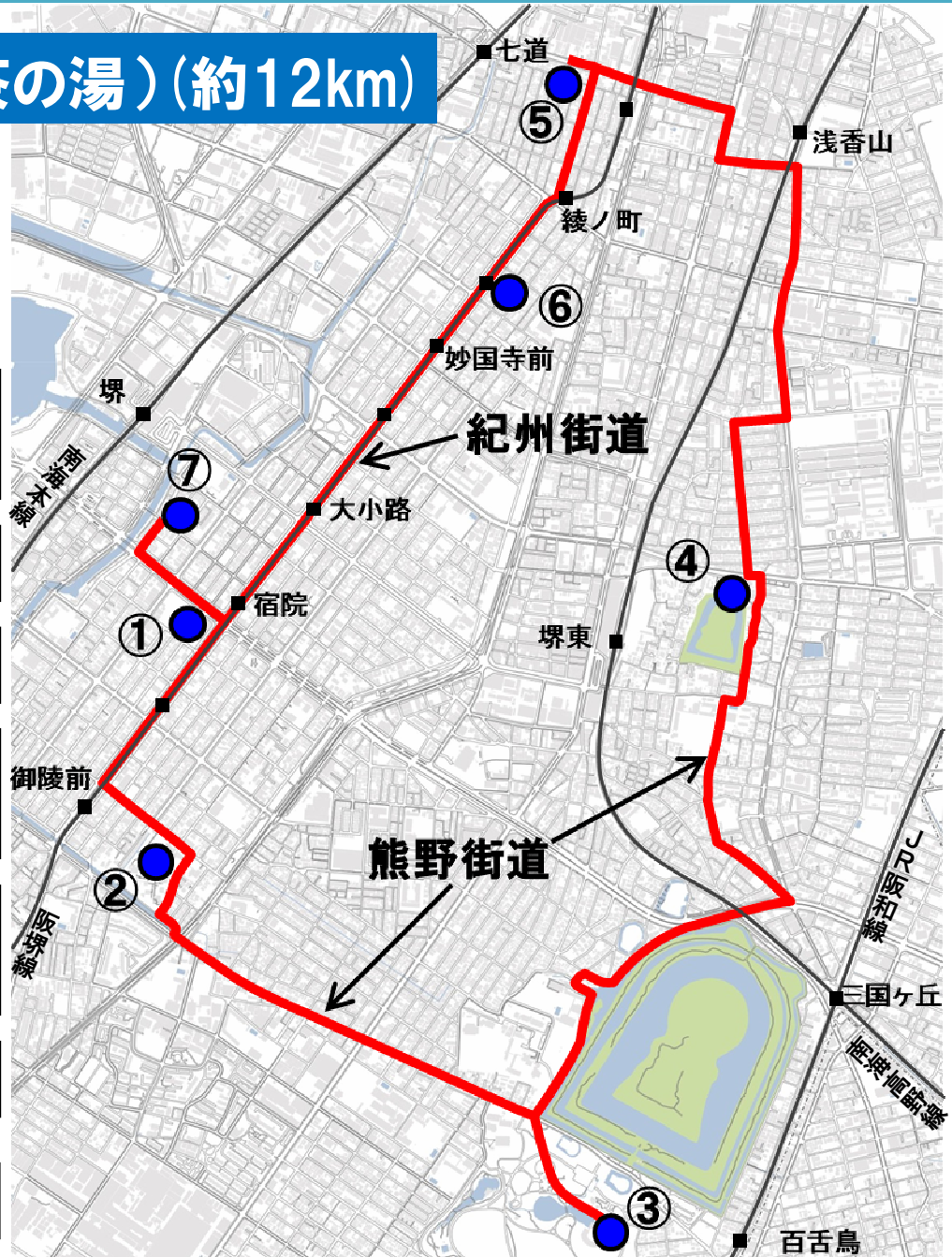
③茶室 黄梅庵 (今井宗久ゆかりの茶室)

④江久庵 (利休の茶室復元)
(銘菓カステラは茶菓子にも利用された)

⑤薫主堂 (お茶席で香を炊く)
(線香のはじまりは堺)

⑥茶寮つぼ市製茶本舗 (お茶の販売、カフェ)

⑦堺泉酒造 (日本酒「千利休」)



阪堺電車サイクルトレイン

魅力資源 阪堺電車

新たな魅力

阪堺電車×自転車で1回で2度おいしい

概要

- ◆自転車をそのまま阪堺電車に積み込み可能とする
- ◆行きは自転車で行って、帰りは阪堺電車で輸送が可能、楽に自転車観光ができる など
(阪堺線の堺市北端から南端までは約7km)

取組事例・関連情報

- ◆水間鉄道、近江鉄道ほか
(国内で路面電車のサイクルトレインの事例はなし)
(海外のLRTはサイクルトレインの事例あり)



出典：
水間鉄道HP

期待される効果

- ◆片道分の体力でも自転車観光が可能に！
- ◆阪堺電車の活性化
(堺市と大阪市間の自転車と阪堺線の利用促進)
- ◆阪堺電車周辺住民による利用

留意するポイント

- ◆自転車置き場の確保
- ◆運用時間 (混雑の回避)
- ◆大阪市域の観光客の取り込み
- ◆各駅にシェアサイクルのポートができれば、より便利

サイクルステーションの設置

魅力資源 観光施設 店舗 **新たな魅力**

自転車観光の拠点と休憩スポットづくり

概要

- ◆既存の駅・観光・商業施設を活用、都心部に設置
- ◆トイレ、水分補給、簡単なメンテナンス等に必要な工具を用意
- ◆自転車観光に関する情報提供やレンタサイクルポートなどを備える
- ◆コンビニやカフェ、物販店などの提携による設置数の増加を目指す

期待される効果

- ◆自転車観光の増加
- ◆自転車観光客の利便性・快適性の向上
- ◆地域店舗等によるおもてなしと地域意識の向上

取組事例・関連情報

- ◆つくばリンリンロード（土浦駅）
- ◆しまなみ海道（広島県・愛媛県）



土浦駅東口
サイクルステーション



しまなみ海道の
サイクルオアシス

留意するポイント

- ◆情報収集の拠点機能も持つことが必要
(観光情報のワンストップ化)
- ◆駅に併設する場合、観光の起終点となるため、ロッカー、更衣室、コインシャワーなども設置できるとなおよい

サイクルロゲイニング

魅力資源 自転車の活用

新たな魅力

自転車による広域観光、地域魅力再発見

概要

- ◆ 自転車を使ったロゲイニングイベント
 - ロゲイニングとは
地図をもとに、時間内に
チェックポイントを回り、得点を
集めるスポーツ
- ◆ 比較的企画しやすいイベント

取組事例・
関連情報

- ◆ 『阪神なぎさ回廊』
サイクル& ウォークロゲイニング
(兵庫県・尼崎市)
- ◆ いながわ町(まち)ぶら
サイクルロゲイニング(猪名川町)

期待される効果

- ◆ 地域魅力の発見
- ◆ 参加者の制限が比較的少なく、
老若男女問わず楽しめる
- ◆ 神社仏閣や観光名所をチェック
ポイントにし、PR
- ◆ さかいコミュニティサイクルの
活用

留意するポイント

- ◆ サイクルステーションの設置

街道みちしるべ

魅力資源

歴史街道

新たな魅力

サイクリング、ウォーキングでの巡りやすさ
街道のイメージアップ

概要

- ◆統一のデザイン、設置ルールに則った案内誘導サインの設置、街道及び周辺の魅力資源へ案内誘導
- ◆色やマークなどを工夫し、分かりやすさと街道のイメージ付けを併せ持つデザインを検討

期待される効果

- ◆街道を巡る人が増加
- ◆街道のイメージづくり
- ◆周辺の魅力資源を含めた回遊行動の増加

取組事例・関連情報

◆奈良県



自転車ルート
誘導サイン

◆しまなみ海道



しまなみ海道の
誘導ライン

留意するポイント

- ◆分かりやすく統一されたデザイン
- ◆インバウンドへの対応（多言語化）
- ◆設置場所の工夫とツール化（ガイドラインの作成）
- ◆景観配慮地区における対応

ご清聴ありがとうございました。